

各位

会社名 株式会社ヤシマキザイ
 代表者名 代表取締役社長 高田 一昭
 (コード番号: 7677 東証市場第二部)
 問合せ先 執行役員管理本部長 阿部 昌宏

2021年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2020年5月25日に公表いたしました2021年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 38,207	百万円 412	百万円 472	百万円 300	円 銭 105.98
今回修正予想(B)	31,038	219	328	210	74.01
増減額(B-A)	△7,169	△193	△144	△90	—
増減率(%)	△18.8	△46.8	△30.5	△30.0	—
(ご参考)前期実績(C) (2020年3月期)	36,082	350	441	248	89.68
前期実績比(B-C)	△5,044	△131	△113	△38	—

2. 修正の理由

2020年5月25日に公表いたしました通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)につきましては、新型コロナウイルス感染症による業績への影響額について、算定が極めて困難であったため、業績予想には織り込んでいませんでした。

新型コロナウイルス感染症は、依然として影響が継続しており、予断を許さない状況です。

業績の大半を占める鉄道セグメントの主な販売先である、鉄道事業者の利用者数、営業収入は落ち込んでおり、同事業者の経営に与える影響は大きく、同事業者各社公表の通期連結業績予想はいずれも前期実績を下回っています。

また、一般セグメントの販売先においても、需要や生産の低下が継続しています。

このような環境の下、当社グループにおいても新型コロナウイルス感染症による業績への影響は避けられず、受注状況等を精査して通期連結業績予想を修正することといたしました。

売上高は、当初想定した案件の計画時期延期や受注減少に伴い、当初予想を下回りました。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も、売上高の減少に伴い売上総利益が減少したことで、当初予想を上回りました。

これらの結果、2021年3月期通期連結業績の見通しを上記の通り修正致します。

なお、2021年3月期の期末配当につきましては、2020年5月25日に公表いたしました予想から変更はございません。期末配当25.00円を予定しております。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は環境の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上